専攻の区分「口腔保健衛生学」の修得単位の審査の基準の改正について

2020年度から、専攻の区分「口腔保健衛生学」の修得単位の審査の基準を改正します。改正後の審査基準による学位授与申請の受付は、2020年度4月期からとなりますので注意してください。

専攻の区分

専攻分野の名称

口腔保健衛生学

口腔保健学

口腔保健衛生学とは、生涯にわたって口腔・顎・顔面領域の健康を維持・増進、また機能の回復を図り、人々の健康を支援するための理論や知識、技術に関する学問領域である。口腔保健学にとって保健・医療・福祉の専門分野の理論、知識、技術は関連が深く、これらを修める必要がある。

学士のレベルでは、専門科目としてA群の5つ以上の区分を含む16単位以上と、実習科目であるB群の「口腔保健学に関する実習科目」を16単位以上学修することが求められる。専門科目のみならず関連科目も幅広く学修することが望ましい。

● 修得すべき専門科目と関連科目の単位 (62 単位以上)

専攻に係る授業科目の区分	専門科目 (40 単位以上)	
	【A群 (講義・演習科目)】 (16 単位以上) ☐ 口腔保健衛生学概論に関する科目 ☐ 臨床歯科医学に関する科目 ☐ <u>基礎歯科医学に関する科目</u> ☐ 口腔疾患予防学に関する科目 ☐ 口腔保健指導に関する科目 ☐ 歯科診療補助に関する科目 【B群 (実習科目)】 (16 単位以上) ☐ 口腔保健衛生学に関する実習科目	左のA群の <u>区分のうちから「口腔保健衛生学概論に関する科目」の区分を含み5区分以上</u> にわたること
	関連科目 (4 単位以上)	
	☐ 医学・歯学に関する科目 ☐ 保健学に関する科目 ☐ 看護学に関する科目 ☐ 社会福祉学に関する科目 ☐ 医療情報科学に関する科目	

■ 専門科目の例 ■

【A群 (講義・演習科目)】

口腔保健衛生学概論に関する科目

口腔保健衛生学概論 (歯科衛生士概論), 医療倫理学など

臨床歯科医学に関する科目

保存修復学, 歯内療法, 歯周療法学, 歯科補綴学, 小児歯科学, 矯正歯科学, 口腔外科学, 歯科麻酔学, 歯科放射線学, 高齢者歯科学, 障害者歯科学など

基礎歯科医学に関する科目

口腔解剖学, 組織学 (口腔組織学を含む), 口腔生理学, 口腔生化学, 微生物学 (口腔微生物学を含む), 病理学 (口腔病理学を含む) など

口腔疾患予防学に関する科目

口腔疾患予防学, 歯科予防処置論, 口腔保健管理学, 口腔健康統計学など

口腔保健指導に関する科目

口腔保健教育学, 口腔保健カウンセリング論, 学校歯科保健教育論, 栄養学, 栄養指導論など

歯科診療補助に関する科目

歯科診療補助論, 臨床口腔保健衛生基礎学, 歯科看護学, 感染予防学, チーム歯科医療学, 臨床検査学, 歯科理工学, 先端臨床歯科学 (口腔外科手術補助, インプラント診療補助, 歯周病再生療法補助など), 摂食・嚥下リハビリテーション学など

【B群 (実習科目)】

口腔保健衛生学に関する実習科目

歯科衛生臨床実習, 口腔保健衛生学臨床・臨地実習, 地域口腔保健衛生臨地実習, 基礎歯科医学に関連する実習 (口腔解剖学実習, 口腔組織学実習, 口腔生化学実習, 口腔微生物学実習, 口腔病理学実習, 歯科理工学実習など) など